

平成27年度通常総会

日 時 平成27年5月27日（水）午後2時30分
会 場 城山観光ホテル （ロイヤルガーデン：2F）

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

総 会 次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 成立宣言
- 5 議長選出
- 6 議 事
 - (1) 議事録署名人選出
 - (2) 議 案
 - 議案第1号 平成26年度事業報告及び決算の承認について
(監 査 報 告)
 - 議案第2号 年会費の一部改正について
 - (3) 報告事項
 - ① 平成27年度事業計画及び収支予算について
 - ② 基本財産からの繰入れについて
- 7 その他
- 8 閉 会

(休 憩)

◇ 講演会

(1) 特別講演

演 題 「中小企業・地域知財支援の最新動向」
講 師 九州経済産業局 地域経済部技術企画課
特許室長 横田 之俊 氏

(2) 記念講演

演 題 「行政に頼らない地域おこし」
講 師 鹿屋市串良町柳谷自治公民館（やねだん）
自治公民館長 豊重 哲郎 氏

◇ 交流パーティー

(ロイヤルガーデン：2F)

議案第 1 号 平成 2 6 年度事業報告及び決算の承認について

【事業報告】

鹿児島県工業倶楽部は、社団法人から公益社団法人に移行したことに伴い、これまでの会員を対象とした活動から、非会員企業も含め、広く県内工業の発展を図るための活動が求められている。

平成 2 6 年度は、鹿児島県の委託事業である「ものづくりコーディネーター育成事業」に取り組み、工業倶楽部会員のみならず非会員企業等も多数訪問して、企業の抱える課題等について調査するとともに、解決に向けて他専門企業とのマッチングなどに努めた。

また、産学官連携を推進するため、鹿児島大学、鹿児島高等専門学校や県、(公財)かごしま産業支援センター、県工業技術センター等と連携を取って、地域産業のあり方等についての検討を進めるため、昨年度に引き続き、鹿児島大学稲盛会館で「第四回食と健康に関するシンポジウム」を開催し、鹿児島大学や鹿児島高等専門学校が主催するラポツアーや産学官連携コーディネーター会議等へ参加したところである。

その他、ベンチャープラザ鹿児島二水会の開催や工業倶楽部の各プラザ、部会の活動促進のための支援や、会報の発行等により会員企業への情報提供などに努めた。

更に、平成 2 7 年度国の特許等取得活用支援事業に係る知財総合支援窓口の企画提案募集に応募し、受託事業者に採択されたことに伴い、窓口開設の準備に努めたところである。

【主要事業】

1 理事会

(1) 第 1 回理事会を開催 (4/23)

- ① 平成 2 5 年度事業報告及び決算案承認 (総会へ提出)
- ② 平成 2 6 年度補正予算の決議 (ものづくりコーディネーター育成事業)
- ③ 理事・監事の選任名簿案作成

(2) 第 2 回理事会 (臨時) を開催 (5/23)

通常総会での新役員 (理事・監事) 選任を受けて、会長及び副会長を選定
・会長 岩元理事 ・副会長 横山理事、竹田理事、弓場理事、本村理事

(3) 第 3 回理事会を開催 (10/6)

年度後半の事業活動等について協議

- ① 食と健康に関するシンポジウムについて② 平成 2 7 年新年大会について
- ③ 委員会活動等について④ ものづくりコーディネーター育成事業中間報告
- ⑤ 講話 「鹿児島県の製造業振興施策について」
講師 悦田克己 県産業支援対策監

(4) 第 4 回理事会 (臨時) を開催 (1/22)

- ①定款の変更及び臨時総会開催について承認
・提案書送付 (1/23)、 ・全員の同意 (2/23)

(5) 第 5 回理事会を開催 (3/5)

- ①平成年度 2 7 事業計画及び収支予算書について

2 総会 (5/23) 城山観光ホテル

- ① 平成25年度事業報告及び決算の承認
- ② 基本財産の処分
- ③ 平成26年度事業計画及び収支予算の報告
- ④ 講演会
 - ・演題 「鹿児島の製造業成長のための対策」
～営業力強化、新商品開発、人材育成、事業多角化、
経営者のやる気等々～
 - ・講師 古賀マネジメント総研株式会社代表取締役 古賀 光雄氏
- ⑤ 交流パーティー

3 第四回 食と健康に関するシンポジウム

- ・日時 平成26年11月18日(火) 14:00～
- ・場所 鹿児島大学 稲盛会館「キミ&ケサ メモリアルホール」

テーマ：鹿児島の食～新たな成長戦略：技術革新で食産業を育てる

●実施内容

- ・特別講演「ICT農業：農業技術と経営力の強化に向けて」
富士通株式会社イノベーションビジネス本部Akisaiビジネス部
シニアディレクター 山崎 富博氏
- ・講演Ⅰ. 「クラウドとSNSを活用して、みかん農家経営の“見える化”を実現」
ウシジマ青果有限会社社長 牛島 清市氏
- ・講演Ⅱ. 「出汁の王国・鹿児島プロジェクトの取組み ～かごしまの出汁の魅力を世界へ」
中原水産株式会社常務取締役 中原 晋司氏
- ・講演Ⅲ. 「高付加価値の水産物と新たな魚食文化を創る、鮮度維持の技術研究」
鹿児島大学水産学部准教授 袁 春紅 氏
- ・講演Ⅳ. 「鹿児島の食の安心を守る防波堤
～附属越境性動物疾病制御研究 (TAD) センター」
鹿児島大学共同獣医学部教授・TADセンター長 小原恭子氏

●総括 (講師による意見交換と質疑応答)

司会：鹿児島大学学長補佐 (社会貢献担当) ・水産学部教授 木村 郁夫氏

●交流会： 18:00～

※シンポジウム参加者：234名 ※交流会参加者： 64名

4 平成27年工業倶楽部新年大会

- ・日時 平成27年1月22日(火)
- ・場所 城山観光ホテル (「鳳凰」)

・講演会

- (1) 演題 「地方創生と九州のこれから」
九州を元気に、日本を元気に ～2015年の年頭にあたり～
講師 九州経済産業局長 岸本吉生氏

- (2) 演題 「我が社の経営戦略」
講師 林建設株式会社 代表取締役 林 隆秀氏
参加者 120名

・交流会

5 ものづくりコーディネーター育成事業

背景・目的

本県中小製造業については、大手進出企業の協力企業として発展してきたことから、取引の多くを大手進出企業に依存する垂直的な産業構成を成しており、県内企業間での連携や地域発の新技术・新製品が生まれにくい現状がある。

本事業は、県内の企業が持つ技術を融合させ、地域内の企業・現場が抱える課題の解決に活用することで、地域の企業が連携して新技术・新製品開発を後押しする、そのような業務に対応できる「ものづくりコーディネーター」の育成を企図するものである。

事業実施内容・実績

(1) 各種講習会及びマッチングセミナーへの参加

① 県外講習会(講演会・展示会・セミナー)	8 回
② 県内講習会(講演会・セミナー,大学関連)	19 //
③ 大学個別訪問(打合せ)	4 //
④ 鹿児島県工業倶楽部関連業務(定例会、シポジウム等)	23 //
⑤ 県外工業連合会関連団体訪問(業務内容、動向調査)	4 //

他に、ISO 内部監査員認証取得、”中小企業創業セミナー”受講、財務諸表マスター講座受講。

(2) 県内外の企業等訪問

①当初目標 50 社 実績 84 社(会員企業 52 社(延べ)非会員企業 32 社 (延べ))

②訪問目的

- 1) 企業の抱える課題の抽出・把握に努め、その解決策を検討する。また、技術的課題については、他専門企業の選定を行い、協同していく。
- 2) 非会員企業訪問については、まずは、”鹿児島県工業倶楽部”を知って頂くことを優先して、会員獲得に繋げる。また、その企業の技術的特色(専門)をリストアップして、今後のコンソーシアム構築を目的とする。

(3) 地域課題の収集及びコンソーシアムの構築

①現地企業等の視察を通じて地域課題の収集を行った。

②課題解決に向けての検討を行った。

○ 実績:抽出課題と提案(技術的課題抽出と進捗状況)

① 製造設備の効率化(精度向上、コストダウンの推進)

A 社 製造設備の効率化(精度向上、コストダウン推進)のための設備改良の相談。

⇒ 専門メーカーを選定して打合せを実施、現在技術的改良案検討中。

2014.12 に改良一号機納入して、現在トライアルを含めて、量産稼働中。

更なる改良点を洗出し、後続機作製予定。

②製造設備の改良(スピードアップ、生産性向上)

B 社 製造設備の改良(スピードアップ、生産性向上)の相談あり

⇒ 専門メーカーを選定して打合せを実施、技術的改良案を検討し設計中。

現在、技術的課題のクリアに難航しており、技術開発を含めて検討中。

③外部委託工程の内製化

C 社 処理工程について、県内企業を物色しているが、生産数量が大きいため難航しているとの相談あり。

⇒ 県内で、関連技術を持つ企業を調査して、双方による打ち合わせを実施。
今後、継続検討事項とする。実現の可能性あり。

④メッキ、塗装工程の改善

D社 他社特許使用のため、ロイヤリティの問題もあり、材料変更等で特許を逃れたい。または新特許として取得したいとの相談あり。

⇒ コストダウンを目的に検討中。

県内の関連企業の協力を得て、今後、ジョイントを視野に入れて検討中。

⑤新繊維の開発

E社 医療用の放射線遮断効果のある新素材開発の相談あり。

⇒ 鹿児島大学工学部に相談。今後、材料研究会に参加しながら実験、検討を進める。実験方法・計画についても提案・提供する方向。

(4)コーディネーターとしての能力向上(講座等の受講特記)

①財務諸表マスター講座を受講

1) 受講日 平成26年7月～10月 計6回(1回 2時間)

2) 会場 産業会館会議室

3) 講師 税理士 餅田 淳一

4) 研修項目

- ・会社組織の構成と経理
- ・経理は重要秘密基地
- ・経理の仕事の1年の流れ
- ・財務分析で経営状態をチェック
- ・損益計算書の構造
- ・貸借対照表の構造
- ・運転資金を監視するための分析
- ・総資本の経常利益率
- ・総資本回転率の悪化原因を調べる
- ・損益分岐点の分析 等

②ISO 内部監査員認定の研修を受講

1) 受講月日 平成26年9月18日～19日

2) 会場 上野原テクノパーク

3) 講師 篠田 照明 南日本審査(株)代表取締役

4) 研修科目・受講の成果

- ・各企業におけるISO9000の獲得、維持管理業務の対応が可能
- ・文書管理、品質管理システムの構築に対応可能
- ・ISO14001の維持管理、構築作業にも対応可能

③「新規創業支援」研修を受講(中小企業大学校人吉校)

1) 受講月日 平成26年10月15日～17日 3日間

2) 会場 中小企業大学校：人吉校

3) 講師 コンサルティング・シスト代表(中小企業診断士)伊藤慎吾

4) 研修科目

- ・創業希望者との係わり方
- ・創業プランの事例研究
- ・創業プランの目利き・演習

6 ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

(1) 第61回 5月14日(水)

- ①藤安醸造株式会社(鹿児島市)「鹿児島県産地鶏である黒さつま鶏を活用した新商品開発と販路開拓」
- ②有限会社エール(指宿市)「鹿児島県産竹炭を活用した高機能性ネットの開発」
- ③日本澱粉株式会社(鹿児島市)「機能性水あめ「アンドロースR」の用途拡大」
- ④合同会社JEXPO(福岡市)「地域産品・丁寧・良質な商材ならフランス等ヨーロッパへ」

(2) 第62回 11月12日(水)

- ①ジャパンポーレックス(株)(霧島市)「セラミックを中心としたオリジナリティあるものづくり」
- ②(有)ヤマチョウ(南さつま市)「自社養殖のぶり・かんぱちを利用した付加価値の高い加工食品の商品開発及び販売」
- ③(株)現場サポート(鹿児島市)「現実直視の経営判断を支援する工務店向け、資金管理システム」
- ④(株)蜂の郷にしおか(八代市)「高性能段ボール製ミツバチ巣箱「ミツバチボーヤ」の開発・販売等」

(3) 第63回 2月4日(水)

【第1部】第10回かごしま産業技術表彰式

大賞:「放熱用高信頼性熱ゴム」薩摩総研株式会社(指宿市)

奨励賞:「e m a x - S P (追尾型太陽光発電システム)」(株)エルム

特別賞:「リチウムイオン電池搭載電源装置E N E X E L (エネルギー)」(株)アイエムティ

【第2部】ビジネスプラン発表:受賞内容報告

7 プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動であり、グループごとに自発的に例会を開催し、講演、情報交換、視察、研究などを実施。

- ・プラザ、部会、地区プラザ等それぞれの計画に従って随時開催(実績:別紙)

8 会報の発行(所管:総務・広報委員会)

①No. 54号(2014年7月)

(夏季号:通常総会、講演会、新役員・各委員会紹介、新会員情報等)

②No. 55号(2015年1月)

(新年大会号:新年大会講演、会員活動状況、新会員情報等)

9 その他

①委員会活動

- ・委員会合同会議(8/18、1/15)
今後の活動内容の検討

②公益法人監査

- ・9月8日(月) 於:工業倶楽部事務局
- ・県産業立地課 吉松係長以下3名
- ・立会い 横山副会長

10 その他関連事業

(1) インターンシップ

① 「未来を拓くキャリア教育推進事業」インターンシップ実習

- ・小城製粉(株)
- ・川内南中学校2名(8/18、8/19)(8/18～8/20)
- ・串木野中学校1名(8/18～8/20)

②(株)丸和工業

- ・鹿児島工業高校2名(7/29～7/31)

(2) 中高生インターンシップ事業関連

① 高校への技術指導(27.2.23)

- ・鹿児島工業高校で、溶接の技術指導等
(株)丸和工業代表取締役会長 石塚俊雄氏

(3) JICA青年研修・バングラディッシュ研修団受け入れ

日時 平成26年10月27日(月)

場所 カクイ株式会社

- ・県青年会館「草舎」が受け入れた、バングラディッシュの訪問団一行14名が、カクイ株式会社を訪問し、「医療用脱脂綿等の商品・技術向上による新分野開発の取り組み」について研修。

(4) 84プラザ創立30周年記念「インドネシア海外研修」実施

- ・創立30周年記念行事として10月15日(水)～19日(日)でインドネシアを訪問。
- ・JETORO ジャカルタ事務所の藤江シニアディレクターから「市場・投資先としての魅力～インドネシア共和国」についての説明
- ・機械、塗装関係工場視察
- ・ジャカルタ鹿児島県人会の西俊一郎会長はじめ10名の方々とインドネシアの進出企業の現状等について情報交換。

(5) 「鹿児島大学工業倶楽部賞」の提供(鹿大卒業式:平成26年3月25日)

- ・鹿児島県地域産業の発展に貢献する優秀な研究業績を挙げた大学院卒業生(森田大貴氏、精松賢一氏)に、学長、工業倶楽部会長の連名による表彰状及び記念品を授与した。

◇ 活動実施状況

平成26年 4月11日	プラザいもづるを開催し、「桜島・錦江湾ジオパークを世界へ」と題し、鹿児島大学名誉教授 大木公彦氏が講演。
21日	川薩地区プラザを開催し、「東アフリカビジネス視察」と題し、(株)ハヤシシステムズコーポレーション 代表取締役 林隆秀氏が講演。
23日	正副会長会を開催し、平成26年度通常総会等について協議。
〃	第1回理事会を開催し、25年度決算及び26年度予算、通常総会等について審議し、26年度予算を決議。
5月9日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
14日	第61回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を、(公財)かごしま産業支援センター、(一社)九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会と合同で開催。
16日	84プラザを開催し、「鹿児島の水産業の未来を創る」と題し、鹿児島大学水産学部教授 学長補佐 木村郁夫氏が講演。
21日	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を出水市で開催し、情報交換を実施。
23日	平成26年度通常総会を城山観光ホテル「ロイヤルガーデン」で開催し、平成25年度の事業報告及び収支決算並びに平成26年度事業計画及び収支予算(案)等について審議を行い承認・可決。また、「創造・新事業開拓の現状について」と題し、古賀マネージメント総研(株) 代表取締役 古賀光雄氏が講演。
〃	第2回理事会を開催し、会長及び副会長を選任した。(会長 岩元理事、副会長 横山理事、竹田理事、弓場理事、本村理事)
26日	出水地区プラザを開催し、「農産物の土づくりについて」と題し、鹿児島県北薩地域振興局農林水産部農政普及課(出水市駐在)技術主幹(野菜普及担当) 南晃宏氏が講演。
6月10日	正副会長会を開催し、委員会活性化について協議。
13日	八日会を開催し、情報交換を実施。
〃	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
17日	84プラザを開催し、「サツマイモでん粉の食品利用の可能性を探る」と題し、鹿児島県農産物加工研究指導センター 研究専門員 時村金愛氏、「サツマイモでん粉の食品利用の実例」と題し、(株)イケダパン 取締役生産総括兼重富工場長 水間淳哉氏が講演。
18日	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を開催し、情報交換を実施。
20日	南薩地区プラザを開催し、「食品関連産業振興プロジェクト」の事業説明を鹿児島県商工労働水産部商工政策課食品関連産業推進担当 本村氏が行った。

6月23日	貿易部会を開催し、「最新のベトナムの貿易・投資動向について」と題し、ジェトロ鹿児島貿易情報センター 所長 永盛明洋氏が講演。
27日	川薩地区プラザを開催し、「まぐろの館への思い」と題し、新洋水産(有) 代表取締役 松元要氏が講演。
7月 2日	食産業部会を開催し、本年度の活動について協議。「大隅加工技術拠点施設」の概要及び利用について、鹿児島県農政部経営技術課より説明。
12日	プラザいもづるを開催し、錦江湾クルージング(谷山→鴨池→天保山→本港→桜島→谷山)を行った。
14日	84プラザを開催し、「科学的、社会的観点から見た日本の深刻な問題について」と題し、鹿児島大学名誉教授・前学長補佐/教育センター長 門久義氏が講演。
23日	工業倶楽部の会報No.54を作成し、会員、関係機関等に配布。
8月18日	各委員会合同会議を開催し、工業倶楽部の活性化策、会費見直し、新会員確保策について協議。
21日	84プラザを開催し、①「特許磨き蒸留『あらわぎ桜島』と本坊酒造の近況のご紹介」と題し、本坊酒造㈱鹿児島工場長・生物工学研究所長 瀬崎俊広氏、②「試験にでない英単語」と題し、大協(株) 代表取締役 横山勝一氏が講演。
29日	平成26年度九州各県工業団体事務局連絡会議を開催し、各県の事業内容、取り組み等について協議。浦添市産業振興センターを視察。
9月11日	八日会を開催し、情報交換を実施。
12日	プラザいもづるを開催し、「鹿児島の温泉と環境」と題し、鹿児島県環境技術協会理事長・鹿児島大学名誉教授 坂元隼雄氏が講演。
10月 2日	84プラザを開催し、「PT. Arimuraya Indonesia とハラル認証」と題し、(株)有村屋 代表取締役 有村興一氏が講話。
6日	正副会長会を開催し、年度後半の事業活動等について協議。
〃	第3回理事会、第四回食と健康に関するシンポジウム、新年大会等について審議。
〃	鹿児島県商工労働水産部との懇談会。
8日	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を開催し、情報交換を実施。
10日	八日会を開催し、情報交換を実施。
〃	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。

10月10日	南薩地区プラザを開催し、地域特産品の活用推進にむけた取組の一環として、「こなみずき」でん粉の特性と活用推進について南薩地域振興局農政普及課 柴立氏が講演。わらびもちの試食（粉茶と黒蜜、きなこと黒蜜）
15日 ～19日	84プラザ創立30周年記念海外研修 in インドネシアで、①企業視察（PT. FOSTA UNGGUL PERDANA）、②インドネシア鹿児島県人会と交流、③ウブド：テガラランのライステラス（棚田）等を視察見学。
11月 7日	八日会を開催し、情報交換を実施。
12日	第62回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を、(公財)かごしま産業支援センター、(一社)九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会と合同で開催。
13日	84プラザを開催し、「ブッシュチョッパーユニットの紹介」と題し、(有)富ヶ原組 環境新技術促進室長 丸田堅次氏が講演。
14日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
18日	第四回食と健康に関するシンポジウムを鹿児島大学「稲盛会館」で開催し、特別講演として「ICT農業：農業技術と経営力の強化に向けて」と題して、富士通(株)イノベーションビジネス本部 Akisai ビジネス部 シニアディレクター 山崎富弘氏が講演。また、講演Ⅰ「クラウドとSNSを活用して、みかん農家経営の“見える化”を実現」農業生産法人ウシジマ青果(有) 代表取締役 牛島清市氏、講演Ⅱ（出汁(だし)の王国・鹿児島プロジェクトの取り組み ～かごしまの出汁の魅力を世界へ）中原水産(株) 常務取締役 中原晋司氏、講演Ⅲ「高付加価値の水産物と新たな魚食文化を創る、鮮度維持の技術研究」鹿児島大学水産学部准教授 袁春紅氏、講演iv「鹿児島県の食の安心を守る防波堤 ～附属越境性動物疾病制御研究(TAD)センター」鹿児島大学共同獣医学部教授・TADセンター長 小原恭子氏が講演。最後に鹿児島大学 学長補佐(社会貢献担当)・水産学部教授 木村郁夫氏が総括。
〃	川薩地区プラザを開催し、京セラ(株) 鹿児島川内工場を見学。
21日	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を開催し、情報交換を実施。
12月 9日	八日会を開催し、情報交換を実施。
11日	84プラザを開催し、①「地域におけるインフラ老朽化問題と官民連携への期待」と題し、日本政策投資銀行南九州支店長 福留浩二氏が講演。②「創立30周年記念インドネシア海外研修」について、寺師勉事務局長より報告。③「84プラザの設立」について、坂元醸造(株) 代表取締役会長 坂元昭夫氏が講話。
12日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
19日	さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会を開催し、情報交換を実施。

平成27年 1月15日	各委員会合同会議を開催し、来年度新規取り組み事業の検討、特許等取得活用支援事業の説明。
22日	第4回理事会を開催し、知財相談業務に係る定款の変更及び臨時総会開催等について承認。
〃	新年大会を開催し、「地方創生と九州のこれからについて」と題して、九州経済産業局長 岸本吉生氏と「我が社の経営戦略」と題して、林建設(株) 代表取締役 林隆秀氏が講演。
23日	川薩地区プラザを開催し、「川内原子力発電所」を視察。
30日	工業倶楽部の会報No.55を作成し、会員、関係機関等に配布。
2月 4日	第63回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を、(公財)かごしま産業支援センター、(一社)九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会と合同で開催。
10日	84プラザを開催し、「うまい魚を獲る技術とその課題」と題し、鹿児島大学水産学部准教授 江幡恵吾氏が講演。
13日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
3月 5日	正副会長会を開催し、理事会議題の協議。
〃	第5回理事会を開催し、平成27年度事業計画及び収支予算、知財総合支援窓口の組織等について審議。また、「鹿児島県の製造業振興施策について」と題して、県商工労働水産部 産業支援対策監 悦田克己氏が講話。
9日	貿易部会を開催して、タイ・インドネシア海外展開セミナー・相談会へ参加。①「タイの製造業の現状等について」ジェトロ中小企業海外展開支援コーディネーター(機械・部品分野) 一迫 守氏(在バンコク) ②「インドネシアの製造業の現状等について」IMDIA(インドネシア金型工業会) 事務局長 谷川逸夫氏が講演。
11日	食産業部会を開催し、①「鹿児島産トウガラシのブランド化を目指して」と題し、鹿児島大学農学部生物生産学科 熱帯資源・植物生産科学研究室 教授 坂上潤一氏が講演。②「平成27年度各種助成金制度について」(公財)かごしま産業支援センター産学官連携課前野課長、県よろず支援拠点加藤コーディネーターが説明。③鹿児島産の商品の県外への販路開拓について」と題し、国分ビジネスサポート(株) 部長 田村吉秀氏が講演。
13日	プラザいもづるを開催し、FMぎんが(西伊敷)のスタジオ見学を行った。
19日	84プラザを開催し、「アルバックの真空応用分野の紹介」と題し、(株)アルバック 営業本部 副本部長 萩之内剛氏とアルバック九州(株) 常務取締役 山口堅二氏が講演。
25日	平成26年度第63回鹿児島大学卒業式で、森田大貴氏、精松賢一氏へ鹿児島大学工業倶楽部賞として表彰状と記念品を授与。

各 種 会 合 等 一 覧 表

月	総会・理事会 正副会長会	委 員 会 等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
4	正副会長会 理事会		プラザいもづる、川薩地区プラザ	4
5	通常総会 理事会		84プラザ、プラザいもづる、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同	5
6	正副会長会		貿易部会、八日会、84プラザ、プラザいもづる、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同、南薩地区プラザ、川薩地区プラザ、出水地区プラザ	9
7			食産業部会、84プラザ、プラザいもづる	3
8		4委員会合同会議	84プラザ、川薩地区プラザ	3
9			八日会、プラザいもづる	2
10	正副会長会 理事会		八日会、84プラザ(2)、プラザいもづる、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同、南薩地区プラザ	8
11			食産業部会、八日会、84プラザ、プラザいもづる、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同、川薩地区プラザ	6
12			八日会、84プラザ、プラザいもづる、さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同	4
27 年 1	理事会	4委員会合同会議	新年大会、川薩地区プラザ	4
2			84プラザ、プラザいもづる、南薩地区プラザ	3
3	正副会長会 理事会		食産業部会、貿易部会、84プラザ、プラザいもづる	6
各 種 会 合 回 数 5 7 回				

◇ 各委員会活動実績

委員会名	月 日	内 容	場 所
4 委員会 合同会議	8月18日	(1) 工業倶楽部の現状報告 (2) 委員会協議（4委員会分科会） (3) 各委員会の協議結果発表及び意見交換	ホテル レク ストン鹿児島
	1月15日	(1) 工業倶楽部の活性化策について (2) 会費見直しについて (3) 新会員確保策について	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室(1) (2)

◇ 各部会活動実績

部会名	月 日	内 容	場 所
福祉ビジ ネス研究 部会 (さつま プラザ・プ ラザさく らじまと 合同)	5月21日	(1) 情報交換	魚松（出水市）
	6月18日	(1) 情報交換	南洲館
	10月8日	(1) 情報交換	城山観光ホテ ル「城山ガー デンス水簾」
	11月21日	(1) 情報交換	「がんこ庵」 自治会館店
	12月19日	(1) 情報交換	坂道食堂 「暖らん」
食産業部 会	7月2日	(1) 「食産業部会」の本年度の活動について (2) 「大隅加工技術拠点施設」の概要及び利用について 鹿児島県農政部経営技術課 鹿児島県ホーム ページ→ 産業・労働 → 食・農業 → 農業技術 → 大隅加工技術拠点施設(仮称) (3) 情報交換その他	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
	11月17日	(1) かごしまフードビジネス交流会への参加を以って 部会とする	城山観光ホテ ル「サファイ アホール飛 鳥」
	3月11日	(1) 「鹿児島産トウガラシのブランド化を目指して」 鹿児島大学農学部生物生産学科 熱帯資源・植物生産科学研究室 教授 坂上潤一氏 (2) 平成27年度各種助成金制度概要・よろず支援 拠点の支援事例の紹介 公益財団法人かごしま産業支援センター ・産学官連携課 課長 前野一朗氏 ・よろず支援拠点 コーディネーター 加藤 剛氏 (3) 「鹿児島産の商品の県外への販路開拓について」 国分ビジネスサポート(株) 部長 田村吉秀氏 (4) 情報交換その他	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (2)

貿易部会	6月23日	(1) 「最新のベトナムの貿易・投資動向について」 ジェトロ鹿児島貿易情報センター 所長 永盛明洋氏 (2) 質疑応答 (3) 会員間の情報交換	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
	3月9日	タイ・インドネシア海外展開セミナー・相談会への参加を以って部会とする。 (1) 「タイの製造業の現状等について」 ジェトロ中小企業海外展開支援コーディネーター (機械・部品分野) 一迫 守氏 (在バンコク) (2) 「インドネシアの製造業の現状等について」 IMDIA (インドネシア金型工業会) 事務局長 谷川逸夫氏	鹿児島東急イン

◇ プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
八日会	6月13日	(1) 近況報告、情報交換	ホテル・レク ストン鹿児島 「竈ダイニン グ皇」
	9月11日	(1) 近況報告、情報交換	ホテル・レク ストン鹿児島 「竈ダイニン グ皇」
	10月10日	(1) 近況報告、情報交換	ホテル・レク ストン鹿児島 「竈ダイニン グ皇」
	11月7日	(1) 近況報告、情報交換	「焼肉なべし ま」NCサン プラザ店
	12月9日	(1) 近況報告、情報交換	ホテル・レク ストン鹿児島 「竈ダイニン グ皇」
84プラ ザ	5月16日	(1) 「鹿児島の水産業の未来を創る」 講師 鹿児島大学水産学部教授 学長補佐 木村郁夫氏 (2) 84プラザ創立30周年記念イベントとして、10 月にインドネシア(ジャカルタとバリ島)への海外 視察の意見、要望について (3) 今語りたいこと(3分間スピーチ)	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)

8 4 プラ ザ	6月17日	(1) 講演 第1部「サツマイモでん粉の食品利用の可能性を探る」 講師 鹿児島県農産物加工研究指導センター 研究専門員 時村金愛氏 第2部「サツマイモでん粉の食品利用の実例」 講師 (株)イケダパン 取締役生産総括兼重富 工場長 水間淳哉氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
	7月14日	(1) 「科学的、社会的観点から見た日本の深刻な 問題について」 講師 鹿児島大学名誉教授・前学長補佐 教育センター長 門 久義氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
	8月21日	(1) 講演 一、「特許磨き蒸留『あらわざ桜島』と本坊酒造の近 況のご紹介」 講師 本坊酒造(株)鹿児島工場長 生物工学研究所長 瀬崎俊広氏 二、「試験にでない英単語」 講師 大協(株) 代表取締役 横山勝一氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
	10月2日	(1) トピックス (株)有村屋 代表取締役 有村興一氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
	10月15日 ～ 10月19日	創立30周年記念海外研修 in インドネシア ・企業視察 (PT. FOSTA UNGGUL PERDANA) ・モール・チプトラ・ワールド散策 ・インドネシア鹿児島県人会と交流 ・ジョグジャカルタ観光研修 ・市内 (王宮など) 見学 ・世界遺産ボロブドール&プランバナン遺跡見学 ・B a l i 島研修 ・プサキ寺院見学 ・ウブド: テガラランのライステラス (棚田)	インドネシア 研修
	11月13日	(1) 「ブッシュチョッパーユニットの紹介」 講師 (有) 富ヶ原組 環境新技術促進室長 丸田堅次氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (2)

84 プラザ	12月11日	(1) 「地域におけるインフラ老朽化問題と官民連携への期待」 講師 日本政策投資銀行南九州支店長 福留浩二氏 (2) 創立30周年記念インドネシア海外研修 鹿児島県工業倶楽部 事務局長 寺師勉 (3) 84プラザの設立 坂元醸造(株) 会長 坂元昭夫氏	ホテル レクストン鹿児島
	2月10日	(1) 「うまい魚を獲る技術とその課題」 講師 鹿児島大学水産学部准教授 江幡恵吾氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (2)
	3月19日	(1) 「アルバックの真空応用分野の紹介」 (株)アルバック営業本部副本部長 萩之内 剛氏 アルバック九州(株) 常務取締役 山口堅二氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザ かごしま2F 展示会議室 (1)
プラザ いもづる	4月11日	(1) 「桜島・錦江湾ジオパークを世界へ」 鹿児島大学名誉教授 大木公彦氏 (2) 情報交換	ニッセイギャラリー稲音館
	5月9日	(1) 情報交換	居酒屋『碇(いかり)』
	6月13日	(1) 暑気払いと情報交換	展望レストラン「ラテラス」
	7月12日	(1) 錦江湾クルージング (谷山→鴨池→天保山→本港→桜島→谷山)	
	9月12日	(1) 「鹿児島の温泉と環境」 鹿児島県環境技術協会理事長 鹿児島大学名誉教授 坂元隼雄氏 (2) 情報交換	「宝山ホール」: 第2会議室(2階)
	10月10日	(1) 情報交換	ごはんのじかん
	11月14日	(1) 情報交換	居酒屋「坐・和民」
	12月12日	(1) 情報交換	居酒屋「朝次郎」
	2月13日	(1) 情報交換	居酒屋「坊津」
	3月13日	(1) スタジオ見学 (2) 情報交換	F M ぎんが (西伊敷)
さつま プラザ・プラザ さくら じま	5月21日	(1) 情報交換	魚松(出水市)
	6月18日	(1) 情報交換	南洲館
	10月8日	(1) 情報交換	城山観光ホテル「城山ガーデンズ水簾」
	11月21日	(1) 情報交換	「がんこ庵」 自治会館店
	12月19日	(1) 情報交換	坂道食堂 「暖らん」

◇地区プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
南薩地区 プラザ	6月20日	(1) 「食品関連産業振興プロジェクト」の事業説明 鹿児島県労働水産部商工政策課 食品関連産業推進担当 本村氏	南さつま市合 同庁舎 南薩 地 域 振 興 局 第5会議室(2 F)
	10月10日	(1) 近況報告 会員各自 (2) 地域特産品の活用推進にむけた取組の一環として、 「こなみずき」でん粉の特性と用推進を提供して いただきました。 わらびもちの試食(粉茶と黒蜜、きなこと黒蜜) 南薩地域振興局農政普及課 柴立氏	南さつま市合 同庁舎 南薩 地 域 振 興 局 第5会議室(2 F)
	2月14日	(1) 安心・安全な「食」の認証セミナー(鹿児島県の 食プロ事業の一環)に参加を以って地区プラザとする。	南さつま市民 会館2階 第2会議室
川薩地区 プラザ	4月21日	(1) 「東アフリカビジネス視察」 (株)ハヤシシステムズコーポレーション 代表取締役 林 隆秀氏	川内ホテル
	6月27日	(1) 「まぐろの館への思い」 新洋水産(有) 代表取締役 松元 要氏	まぐろの館
	8月26日	(1) 「鹿児島におけるバイオマス利用技術開発」 鹿児島大学 教授 筒井俊夫氏	川内ホテル
	11月18日	(1) 工場見学	京セラ(株) 鹿児島川内工 場
	1月23日	(1) 発電所視察	川内原子力発 電所
出水地区 プラザ	5月26日	(1) 「農産物の土づくりについて」 鹿児島県北薩地域振興局農林水産部 農政普及課(出水市駐在)技術主幹 (野菜普及担当) 南 晃宏氏	鶴の町商工会 館 野田支所

収支決算総括表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支部				
(1) 事業活動収入				
① 基本財産運用益	3,500	2,872	628	
② 受取入会金				
正会員 30,000円×2会員	30,000	60,000	△ 30,000	
③ 受取会費	10,545,000	10,417,500	127,500	
正 会 員	9,145,000	9,017,500	127,500	
10,000円×18会員	180,000	180,000	0	
30,000円×35会員	1,050,000	1,050,000	0	
55,000円×14会員	770,000	770,000	0	
80,000円×35会員	2,800,000	2,800,000	0	
105,000円×15会員	1,575,000	1,575,000	0	
130,000円×10会員	1,300,000	1,300,000	0	
155,000円×6会員	1,085,000	930,000	155,000	
230,000円×1会員	230,000	230,000	0	
新規会員 4会員 計 138会員	155,000	182,500	△ 27,500	
賛助会員	1,400,000	1,400,000	0	
100,000円×10会員	1,000,000	1,000,000	0	
200,000円×2会員 計 12会員	400,000	400,000	0	
④ 受取補助金	200,000	200,000	0	
平成26年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0	
⑤ 受取負担金	700,000	744,352	△ 44,352	
総会懇談会負担分	350,000	320,000	30,000	
新年大会懇談会負担分	350,000	424,352	△ 74,352	
⑥ 受取委託料	9,900,000	9,122,000	778,000	
企業連携型地域課題解決支援事業(鹿児島県)	9,900,000	9,122,000	778,000	
⑦ 雑収益	83,734	126,151	△ 42,417	
事業活動収入計 (A)	21,462,234	20,672,875	789,359	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
(2) 経常費用				
① 事業費	20,171,900	18,218,106	1,953,794	
給料手当	11,600,040	11,113,531	486,509	
賃 金	0	12,000	△ 12,000	
福利厚生費	1,145,681	1,306,445	△ 160,764	
退職金掛金	172,800	172,800	0	
退 職 金	0	19,512	△ 19,512	
表 彰 費	100,000	78,840	21,160	
旅費交通費	2,664,660	2,002,643	662,017	
通信運搬費	287,180	315,940	△ 28,760	
消耗品費	541,575	567,149	△ 25,574	
印刷製本費	603,850	451,597	152,253	
会 議 費	600,000	418,424	181,576	
諸 謝 金	676,240	299,601	376,639	
賃 借 料	1,485,984	1,196,279	289,705	
会場借上	200,000	0	200,000	
広 告 料	0	32,400	△ 32,400	
租 税 公 課	0	25,730	△ 25,730	
雑 費	93,890	205,215	△ 111,325	
② 管理費	3,693,100	3,787,794	△ 94,694	
給料手当	1,100,010	1,512,084	△ 412,074	
福利厚生費	621,288	415,680	205,608	
退職金掛金	115,200	115,200	0	
退 職 金	0	13,008	△ 13,008	
旅費交通費	5,340	3,926	1,414	
通信運搬費	58,820	64,686	△ 5,866	
消耗品費	110,925	116,144	△ 5,219	
印刷製本費	46,150	34,511	11,639	
会 議 費	700,000	740,073	△ 40,073	
諸 謝 金	113,760	50,399	63,361	
賃 借 料	436,376	351,281	85,095	
支払負担金	366,000	318,800	47,200	
租 税 公 課	0	5,270	△ 5,270	
雑 費	19,231	46,732	△ 27,501	
事業活動支出計 (B)	23,865,000	22,005,900	1,859,100	
事業活動収支差額計 (A-B)	△ 2,402,766	△ 1,333,025	△ 1,069,741	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
基本財産取崩収入	1,200,000	1,200,000	0	
投資活動収入計	1,200,000	1,200,000	0	
2 投資活動支出				
基本財産取得支出	30,000	60,000	△ 30,000	
固定資産取得支出				
什器備品購入支出				
投資活動支出計	30,000	60,000	△ 30,000	
3 予備費支出				
当期収支差額	△ 1,232,766	△ 193,025	△ 1,039,741	
前期繰越収支差額	1,232,766	1,232,766	0	
次期繰越収支差額	0	1,039,741	△ 1,039,741	

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,872	3,236	△ 364	
② 受取入会金	60,000	0	60,000	
③ 受取会費	10,417,500	10,470,000	△ 52,500	
正 会 員	9,017,500	9,170,000	△ 152,500	
10,000円×18会員	180,000	190,000	△ 10,000	
30,000円×35会員	1,050,000	1,080,000	△ 30,000	
55,000円×14会員	770,000	770,000	0	
80,000円×35会員	2,800,000	2,880,000	△ 80,000	
105,000円×15会員	1,575,000	1,575,000	0	
130,000円×10会員	1,300,000	1,300,000	0	
155,000円×6会員	930,000	1,085,000	△ 155,000	
230,000円×1会員	230,000	230,000	0	
新規会員 4会員 計 138会員	182,500	60,000	122,500	
賛助会員	1,400,000	1,300,000	100,000	
100,000円×10会員	1,000,000	900,000	100,000	
200,000円×2会員 計 12会員	400,000	400,000	0	
④ 受取補助金	200,000	200,000	0	
平成26年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0	
⑤ 受取負担金	744,352	800,000	△ 55,648	
総会懇談会負担分	320,000	305,000	15,000	
新年大会懇談会負担分	424,352	495,000	△ 70,648	
⑥ 受取委託料	9,122,000	9,240,000	△ 118,000	
企業連携型地域課題解決支援事業(鹿児島県)	9,122,000	0	9,122,000	
ものづくり企業元気おこし交流事業(鹿児島県)	0	9,240,000	△ 9,240,000	
⑦ 雑収益	126,151	301,749	△ 175,598	
経常収益計	20,672,875	21,014,985	△ 342,110	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2) 経常費用				
① 事業費	18,218,106	18,976,377	△ 758,271	
給料手当	11,113,531	10,675,989	437,542	
賃 金	12,000	17,300	△ 5,300	
福利厚生費	1,306,445	1,523,311	△ 216,866	
退職金掛金	172,800	172,800	0	
退 職 金	19,512	0	19,512	
表 彰 費	78,840	76,000	2,840	
旅費交通費	2,002,643	1,117,521	885,122	
通信運搬費	315,940	272,582	43,358	
消耗品費	567,149	667,404	△ 100,255	
印刷製本費	451,597	1,273,846	△ 822,249	
会 議 費	418,424	505,354	△ 86,930	
諸 謝 金	299,601	573,526	△ 273,925	
賃 借 料	1,196,279	1,282,932	△ 86,653	
会場借上	0	474,267	△ 474,267	
広 告 料	32,400	0	32,400	
租 税 公 課	25,730	25,896	△ 166	
雑 費	205,215	317,649	△ 112,434	
② 管理費	3,787,794	4,121,218	△ 333,424	
給料手当	1,512,084	1,553,216	△ 41,132	
福利厚生費	415,680	413,248	2,432	
退職金掛金	115,200	115,200	0	
退 職 金	13,008	0	13,008	
旅費交通費	3,926	2,141	1,785	
通信運搬費	64,686	55,786	8,900	
消耗品費	116,144	136,677	△ 20,533	
印刷製本費	34,511	97,349	△ 62,838	
会 議 費	740,073	785,250	△ 45,177	
諸 謝 金	50,399	96,474	△ 46,075	
賃 借 料	351,281	376,719	△ 25,438	
支払負担金	318,800	421,000	△ 102,200	
租 税 公 課	5,270	5,304	△ 34	
雑 費	46,732	62,854	△ 16,122	
③ 什器備品減価償却費	34,748	76,833	△ 42,085	
経常費用計	22,040,648	23,174,428	△ 1,133,780	
当期経常増減額	△ 1,367,773	△ 2,159,443	791,670	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,367,773	△ 2,159,443	791,670	
一般正味財産期首残高	13,100,317	15,259,760	△ 2,159,443	
一般正味財産期末残高	11,732,544	13,100,317	△ 1,367,773	
正味財産期末残高	11,732,544	13,100,317	△ 1,367,773	

正味財産増減計算内訳書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	2,264	0	608	2,872	
② 受取入会金	60,000	0	0	60,000	
③ 受取会費	5,208,750	0	5,208,750	10,417,500	
正 会 員	4,508,750	0	4,508,750	9,017,500	
10,000円×18会員	90,000	0	90,000	180,000	
30,000円×35会員	525,000	0	525,000	1,050,000	
55,000円×14会員	385,000	0	385,000	770,000	
80,000円×35会員	1,400,000	0	1,400,000	2,800,000	
105,000円×15会員	787,500	0	787,500	1,575,000	
130,000円×10会員	650,000	0	650,000	1,300,000	
155,000円×6会員	465,000	0	465,000	930,000	
230,000円×1会員	115,000	0	115,000	230,000	
新規会員 4会員 計138会員	91,250	0	91,250	182,500	
賛助会員	700,000	0	700,000	1,400,000	
100,000円×10会員	500,000	0	500,000	1,000,000	
200,000円×2会員 計 12会員	200,000	0	200,000	400,000	
④ 受取補助金	200,000	0	0	200,000	
平成26年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	0	0	200,000	
⑤ 受取負担金	0	0	744,352	744,352	
総会懇談会負担分	0	0	320,000	320,000	
新年大会懇談会負担分	0	0	424,352	424,352	
⑥ 受取委託料	9,122,000	0	0	9,122,000	
企業連携型地域課題解決支援事業(鹿児島県)	9,122,000	0	0	9,122,000	
⑦ 雑収益	126,151	0	0	126,151	
経常収益計	14,719,165	0	5,953,710	20,672,875	

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合 計	備 考
(2) 経常費用					
① 事業費	18,246,947	0	0	18,246,947	
給料手当	11,113,531	0	0	11,113,531	
賃金	12,000	0	0	12,000	
福利厚生費	1,306,445	0	0	1,306,445	
退職金掛金	172,800	0	0	172,800	
退職金	19,512	0	0	19,512	
表彰費	78,840	0	0	78,840	鹿大工業倶楽部賞
旅費交通費	2,002,643	0	0	2,002,643	講師旅費等
通信運搬費	315,940	0	0	315,940	TEL・FAX料他
消耗品費	567,149	0	0	567,149	コピー料他
印刷製本費	451,597	0	0	451,597	会報誌他
会議費	418,424	0	0	418,424	
諸謝金	299,601	0	0	299,601	講師謝金等
賃借料	1,196,279	0	0	1,196,279	会議室料
広告料	32,400	0	0	32,400	
租税公課	25,730	0	0	25,730	
雑費	205,215	0	0	205,215	
什器備品減価償却費	28,841	0	0	28,841	
② 管理費	0	0	3,793,701	3,793,701	
給料手当	0	0	1,512,084	1,512,084	
福利厚生費	0	0	415,680	415,680	
退職金掛金	0	0	115,200	115,200	
退職金	0	0	13,008	13,008	
旅費交通費	0	0	3,926	3,926	
通信運搬費	0	0	64,686	64,686	
消耗品費	0	0	116,144	116,144	
印刷製本費	0	0	34,511	34,511	
会議費	0	0	740,073	740,073	
諸謝金	0	0	50,399	50,399	
賃借料	0	0	351,281	351,281	
支払負担金	0	0	318,800	318,800	
租税公課	0	0	5,270	5,270	
雑費	0	0	46,732	46,732	
什器備品減価償却費	0	0	5,907	5,907	
経常費用計	18,246,947	0	3,793,701	22,040,648	
当期経常増減額	△ 3,527,782	0	2,160,009	△ 1,367,773	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 3,527,782	0	2,160,009	△ 1,367,773	
一般正味財産期首残高	13,100,317	0	0	13,100,317	
一般正味財産期末残高	9,572,535	0	2,160,009	11,732,544	
正味財産期末残高	9,572,535	0	2,160,009	11,732,544	

貸借対照表総括表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
普通預金	416,799	417,972	△ 1,173	
未収会費	20,000	10,000	10,000	
未収金	914,000	1,140,000	△ 226,000	
流動資産合計	1,350,799	1,567,972	△ 217,173	
2. 固定資産				
(1)基本財産				
定期預金	10,620,000	11,760,000	△ 1,140,000	
基本財産合計	10,620,000	11,760,000	△ 1,140,000	
(2)その他の固定資産				
什器備品	3	34,751	△ 34,748	
電話加入権	72,800	72,800	0	
その他の固定資産合計	72,803	107,551	△ 34,748	
固定資産合計	10,692,803	11,867,551	△ 1,174,748	
資産合計	12,043,602	13,435,523	△ 1,391,921	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	106,974	144,062	△ 37,088	
預り金	135,290	128,435	6,855	
仮受金	68,794	62,709	6,085	
流動負債合計	311,058	335,206	△ 24,148	
負債合計	311,058	335,206	△ 24,148	
III 正味財産の部				
一般正味財産	11,732,544	13,100,317	△ 1,367,773	
(うち基本財産への充当額)	(10,620,000)	(11,760,000)	(1,140,000)	
正味財産合計	11,732,544	13,100,317	△ 1,367,773	
負債及び正味財産合計	12,043,602	13,435,523	△ 1,391,921	

財 産 目 録

(平成27年3月31日現在) (単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的	金 額	
(流動資産)	預金	<普通預金>		
		鹿児島銀行本店	270,958	
		南日本銀行本店	145,841	
		<預金計>	416,799	
	未収会費 未収金	鹿児島県	正会員 1件	20,000
企業連携型地域課題解決支援事業			910,000	
// 旅費交通費			4,000	
	<未収金計>	934,000		
流動資産合計			1,350,799	
(固定資産)	基本財産	預金	<定期預金>	
			鹿児島銀行本店	4,620,000
			南日本銀行本店	3,000,000
			鹿児島相互信用金庫本店	3,000,000
		<預金計>	10,620,000	
その他の 固定資産	什器備品	プロジェクター(1台)	3	
		パソコン(2台)	3	
	電話加入権	099-225-8012 外4回線	公益目的及び管理目的としての共有財産 公益目的 83.0% 管理目的 17.0%	72,800
	<その他の固定資産計>	72,803		
固定資産合計			10,692,803	
資産合計			12,043,602	
(流動負債)	未払金	(株)久永	コピーカウント料	36,214
		社会保険料事務所負担分	3月分健康保険料、厚生年金等	67,903
		(株)グッドコミュニケーションズ	ID登録料他	1,393
		ヤマト運輸(株)	荷送料	864
		日本郵便オフィスサポート(株)	証明書代	600
	<未払金計>	106,974		
	預り金	社会保険料職員負担分	3月分健康保険料、厚生年金等	135,290
	仮受金	社会保険料事務所負担分	企業連携型地域課題解決支援事業 事業職員分	68,794
流動負債合計			311,058	
固定負債合計			0	
負債合計			311,058	
正味財産			11,732,544	

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

3. 会計方針

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の関連する規定に基づく会計基準にした。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	11,760,000	60,000	1,200,000	10,620,000
小 計	11,760,000	60,000	1,200,000	10,620,000
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	11,760,000	60,000	1,200,000	10,620,000

5. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	10,620,000	()	(10,620,000)	—
小 計	10,620,000	()	(10,620,000)	—
特定資産	0	()	()	
小 計	0	()	()	
合 計	10,620,000	()	(10,620,000)	—

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

什器備品科目の物件	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
パソコン	165,270	165,269	1
パソコン	176,145	176,144	1
プロジェクター	135,975	135,974	1
小 計	477,390	477,387	3
建物附属設備科目の物件	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
	0	0	0
小 計	0	0	0
合 計	477,390	477,387	3

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照 表上の記 載区分
補助金 平成 26 年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	—
合 計		0	200,000	200,000	0	

8. 重要な後発事象

該当事項なし

9. その他

該当事項なし

付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細



(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産		11,760,000	60,000	1,200,000	10,620,000
	基本財産計	11,760,000	60,000	1,200,000	10,620,000
特定資産					
	特定資産計	0	0	0	0

監査報告書

平成27年4月21日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部
会長 岩元 正 孝 殿

監事 餅田 淳一 
監事 種子田 秀樹 

私たち監事は、当倶楽部の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、当倶楽部の事務所において業務及び財産の状況について調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

議案第2号 年会費の一部改正について

平成27年4月24日に開催された第1回理事会において、平成28年度から年会費を一部改正することについて決議されたので、公益社団法人鹿児島県工業倶楽部の入会、退会及び会費に関する規程第11条の規定に基づき承認を求めます。

別表

■会費

現			改		
区分	従業員数	会費	区分	従業員数	会費
1	5人以下	30,000円	1	5人以下	30,000円
2	6～10人	55,000円	2	6～10人	55,000円
3	30人未満	80,000円	3	30人未満	80,000円
4	50人未満	105,000円	4	50人未満	105,000円
5	100人未満	130,000円	5	100人未満	130,000円
6	300人未満	155,000円	6	100人以上	155,000円
7	500人未満	180,000円			
8	1000人未満	205,000円			
9	1000人以上	230,000円			
	個人会員	10,000円		個人会員	10,000円

- ・年度途中の入会者の会費：年会費×残数月÷12＝会費(個人会員を除く)
- ・既納の会費、入会金は返戻しない。
- ・賛助会員会費算出基準：年額一口100,000円とする。
口数については、協議のうえ決定する。
- ・個人会員：会社役員を除く個人とする。

*関係条文

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部の入会、退会及び会費に関する規程(抜粋)

(入会金及び年会費)

第5条 正会員の入会金及び年会費の金額については、次のとおりとする。

(1) 入会金(法人会員のみ) 30,000円

(2) 年会費

別表 のとおり

2 賛助会員及び特別会員については、入会金は徴収しない。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、**理事会の決議**により行うものとする。ただし、第5条第1項の入会金及び年会費を変更しようとするときは、**総会の承認**を得なければならない。

MEMO

報告事項 1 平成 27 年度事業計画及び収支予算について

1 基本方針

- (1) 国内景気の現状は、家計や企業のマインド・景況感の悪化に歯止めがかかるなか、緩やかな回復傾向が持続しているが、外需は輸出が数量ベースで緩やかな伸びにとどまるなど、景気けん引力が限定的となっている。

当面の見通しは、消費税増税後の反動減や、それに伴う在庫調整圧力が一巡するとともに、企業の前向きな投資スタンスの堅持、雇用・所得環境の改善、原油下落に伴う企業や家計の負担減などを背景に、景気は緩やかに回復していくことが期待される。

国においては、平成 26 年度補正予算により、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策を実施するとともに、平成 27 年度予算において経済成長に資する施策に重点化し、デフレ脱却・経済再生と財政健全化の両立に向けて取り組むこととしている。

これまで当倶楽部は、会員企業による異業種交流を深めるとともに、産学官連携を多様化しながら、技術の高度化、新技術・新製品の開発による新規事業分野への進出等を促進し、県内工業の健全な発展に寄与する活動を展開してきたところである。

平成 27 年度は、これまでの異業種交流に加え、知的財産権について中小企業等が企業経営の中で抱える悩みや課題を一元的に受け付け、知財専門家や県内中小企業支援機関と協働して解決に導く、国の「特許等取得活用支援事業」に取り組むこととする。

これらの取り組みにより、会員企業の事業活動の拡充を支援し、会員相互の一層の交流促進を図るとともに、公益社団法人として、会員外の企業・団体等も含めて、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内工業の発展や地域の振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開していく。

2 主要事業

(活性化事業)

- ① まち・ひと・しごと創生事業に対する提言等 **【特命委員会】**
- ② 公益社団法人化に伴うイメージアップのための提案 **【特命委員会】**
- ③ 工業倶楽部活性化のための提案 **【特命委員会】**
- ④ 新規会員の加入促進 **【総務・広報委員会】**

(異業種交流事業)

- ① 時代を先取りするものづくり異業種交流事業の実施 **【事業委員会】**
 - ・企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等を促進するため異業種企業の連携による取り組みで経営基盤の確立を促進する。
 - ・医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等の分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発への取り組みを促進する。
 - ・異業種交流事業を通しての新規会員の獲得 **【総務・広報委員会】**
- ② 県外の工業団体等との交流促進 **【渉外委員会】**
 - ・九州内の工業団体等の交流による情報、意見の交換等の促進を図る。
 - ・県外産業界等との交流による会員の事業充実、資質向上を促進する。
 - ・鹿児島大学、県工業技術センター、かごしま産業支援センター、二水会との交流
- ③ 新しい時代に対応した工業倶楽部のプラットフォーム化の研究 **【事業委員会】**
- ④ プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進 **【事業委員会】**

(産・学・官連携事業)

- ① 鹿大等との交流連携の推進
 - ・企業のニーズと大学等のシーズのマッチングによる具体的結果の出る取り組みの推進 **【渉外委員会】**
 - ・「食と健康に関するシンポジウム」の開催 **【特命委員会】**
- ② 若者就職活動に関するサポート活動の強化 **【特命委員会】**
 - ・各種インターンシップの援助等
- ③ 会員大学教授・名誉教授等による相談対応 **【渉外委員会】**

(広報・デザイン開発事業)

- ① 工業倶楽部のイメージアップの促進 **【総務・広報委員会】**
 - ・当倶楽部のイメージアップを図るため、県、県議会、マスコミ等との交流の推進
 - ・会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、ホームページの利活用による当倶楽部の知名度アップ促進

3 新規事業

「特許等取得活用支援事業」に係る「知財総合支援窓口」の設置

(内容：別紙)

4 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当年度における借り入れ予定

①知財総合支援窓口設置に係る短期借入（借入限度額：3400万円）

・ 4月 150万円 ・ 5月 250万円 ・ 6月～11月 各 300万円

（4月～11月 合計 2200万円）

・ 12月以降は、概算払い制度を活用し、借入額の縮減に努める。

(2) 設備投資の見込みについて

なし

※一般法人法（抜粋）

第5款 理事会（理事会の権限等）

第90条 理事会は、すべての理事で組織する。

2～3（略）

4 理事会は、次に掲げる事項その他重要な業務執行の決定を理事に委任することができない。

一 重要な財産の処分及び譲受け

二 多額の借財

三（略）

四 従たる事務所その他の重要な組織の設置、変更及び廃止

五～六 （略）

【別紙】 特許等取得活用支援事業（知財総合支援窓口）

1. 制度概要

国は、地域の中小企業・個人等の知的財産活用を支援する中核として、中小企業等が企業経営の中で抱える知的財産に関する悩みや課題を一元的に受け付け、弁理士等知的財産に携わる専門家や県及び県内中小企業支援機関と協働で、ワンストップサービスを提供する知財総合支援窓口を各県に設置する。

2. 事業内容

(1) 中小企業等の利便性等を踏まえた場所での支援窓口の設置

事業の実施に当たっては、国の知財相談一元化窓口の（独）工業所有権情報・研修館（「I N P I T」）が派遣する2名の窓口支援相談員と協働すること。

(2) 知財専門家等を活用した、課題解決のためのワンストップサービスの提供

(3) 支援機関との連携及び定期的な情報共有など

3. 管理体制（①+②）6名

①地域採用の支援窓口の体制（4名）

- ・管理者：支援事業の統括管理（1名）
- ・地域採用の窓口支援相談員（1）名
- ・事務補助者：事業実施の集計・経理処理等（2名）

②中央採用の窓口支援相談員（2名）

4. 委託事業者：九州経済産業局

5. 委託事業規模 34,580千円（一般管理費、消費税及び地方消費税等込み）

【参 考】

1. 公募説明会 平成27年2月5日（木）
2. 公募締切 平成27年3月9日（月）
3. ヒアリング 平成27年3月17日（火）
4. 審査結果連絡 平成27年3月19日（木）
5. 契約、事業開始 平成27年4月1日（水）

一 般 会 計 事 業 計 画

事 業 名	事 業 内 容	事業費(円)
1 総務企画事業		<u>1,660,000</u>
(1) 理事会及び正副会長会	総会の議決した事項その他組織・運営・事業等、業務の執行に関することを決定する。	110,000
(2) 委員会(4委員会)	理事会で決定した業務等を所管の委員会が推進する。	20,000
(3) 部会及びプラザの代表者会議	部会及びプラザの活動を推進するための、事業・予算及び活動計画等の確認	30,000
(4) 通常総会	平成27年度通常総会の開催	700,000
(5) 異業種交流大会の開催(新年大会)	<div style="display: flex; align-items: center;"> } 会員の資質向上を図るとともに、会員間の交流を深めることにより、新規事業分野 への進出等を促進する。 </div>	680,000
(6) 異業種交流大会の開催(秋季大会)		0
(7) 新規会員の加入促進運動	魅力ある工業倶楽部を実現するため、委員会・部会・研究会・プラザ等の充実を通して組織強化を図る。会員増強に力を入れ、各会員が 1名の会員加入をするよう積極的に行動を起こす運動を展開する。	100,000
(8) 国際交流への負担金	県日中友好協会、鹿児島日韓親善協会等への参加協力ほか	20,000
2 異業種交流事業		<u>555,000</u>
(1) 部会活動推進事業	福祉ビジネス研究、情報ネットワーク、食産業部会、貿易部会等の活動を推進する。	90,000
(2) プラザ活動推進事業	八日会、84プラザ、さつまプラザ、プラザいもづる、プラザさくらじまでの交流、活動を推進する。	150,000
(3) 研究会活動推進事業	特定テーマ、課題解決のための研究会の活動推進	120,000
(4) 地区プラザの充実及び円滑な運営の推進	各地区プラザの充実を促進し、地域産業の発展に貢献する。	90,000
(5) 出前交流事業	当工業倶楽部役員を中心に地域を訪問し、地域の会員企業・団体との交流を通じて、地区プラザ等の活性化、会員の確保、地域の振興に資する。	0
(6) 県外工業団体等との交流	県外の企業や産業界等との交流を推進する。	105,000

3 産・学・官連携事業		<u>876,000</u>
(1) 鹿大等との連携	「学」との交流、連携の推進	730,000
	①鹿大との交流・連携の推進	100,000
	②地域貢献に黙する活動(シンポジウム)	500,000
	③鹿児島大学工業倶楽部賞の授与	100,000
	④高専、研究、教育機関等との交流の推進	30,000
(2) 県・公設試・各種団体等との連携	「官」との交流、連携の推進	126,000
	①鹿児島県(産業立地課、工技センター、産業支援センター)との連携	106,000
	②その他関連する団体等との交流	20,000
(3) インターンシップ、講師派遣等の推進	学生のインターンシップ、県教委キャリア教育推進事業等への協力	20,000
4 広報・デザイン開発活動事業		<u>388,000</u>
(1) 情報の収集及び会報・KICニュースの発行	異業種交流、産学官連携及び講演会、セミナー等の情報の提供、会員の情報発信 配付先:会員、県及び関係機関、その他関係団体等	220,000
(2) 工業倶楽部案内	ホームページ充実等による工業倶楽部及び会員の紹介、新商品や事業展開情報等の発信	58,000
(3) マスコミ等への広報	マスコミ、県議会等との意見交換を通じた工業倶楽部のイメージアップ及び会員の資質向上	10,000
(4) デザイン開発力強化等の推進	地域産業におけるデザインマインドの高揚とデザイン開発力の強化を図るための協力等の実施	100,000

(予算)

収支予算総括表

平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

科 目	一般会計	特許等取得 活用支援事業	合 計
I 事業活動収支の部			
1.事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産運用収入	3,000	0	3,000
②入会金収入			
入会金収入	0	0	0
③会費収入	9,860,000	0	
正会員収入	8,460,000	0	8,460,000
10,000円×18会員	180,000		180,000
30,000円×35会員	1,050,000		1,050,000
55,000円×12会員	660,000		660,000
80,000円×33会員	2,640,000		2,640,000
105,000円×15会員	1,575,000		1,575,000
130,000円×8会員	1,040,000		1,040,000
155,000円×7会員	1,085,000		1,085,000
230,000円×1会員 計 129会員	230,000		230,000
賛助会員会費収入 計12	1,400,000	0	1,400,000
100,000円×10会員	1,000,000		1,000,000
200,000円×2会員 計 12会員	400,000		400,000
④補助金等収入	200,000	0	200,000
補助金収入			
平成27年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000		200,000
⑤負担金収入			
負担金収入	700,000	0	700,000
総会懇談会負担金	350,000		350,000
新年大会懇談会負担金	350,000		350,000
⑥委託料収入			
委託料	0	34,579,571	34,579,571
⑦雑収入			
受取利息等収入	146,259	0	146,259
事業活動収入計 (A)	10,909,259	34,579,571	45,488,830

科 目	一般会計	特許等取得 活用支援事業	合 計
2.事業活動支出			
①事業費支出	10,437,038	29,167,451	39,604,489
給料手当	5,800,625	15,462,079	21,262,704
福利厚生費	1,033,815	0	1,033,815
退職金掛金	173,088	0	173,088
表彰費	100,000	0	100,000
旅費交通費	439,120	4,509,713	4,948,833
通信運搬費	195,880	173,470	369,350
消耗品費	209,575	278,880	488,455
印刷製本費	418,050	130,060	548,110
会議費	300,000	56,500	356,500
諸謝金	419,440	6,351,552	6,770,992
賃借料	1,254,084	1,299,877	2,553,961
広告料	0	902,000	902,000
雑費	93,361	3,320	96,681
②管理費支出	3,511,962	2,156,078	5,668,040
給料手当	1,451,156	0	1,451,156
福利厚生費	307,061	0	307,061
退職金掛金	114,912	0	114,912
旅費交通費	880	9,037	9,917
通信運搬費	40,120	35,530	75,650
消耗品費	42,925	57,120	100,045
印刷製本費	31,950	9,940	41,890
会議費	700,000	0	700,000
賃借料	368,276	381,723	749,999
諸謝金	70,560	1,662,048	1,732,608
支払負担金	365,000	0	365,000
雑費	19,122	680	19,802
事業活動支出計 (B)	13,949,000	31,323,529	45,272,529
事業活動収支差額(A-B)	△ 3,039,741	3,256,042	216,301
II 投資活動収支の部			
1投資活動収入			
基本財産取崩収入	2,000,000	0	2,000,000
投資活動収入計	2,000,000	0	2,000,000
2投資活動支出			
基本財産取得支出	0	0	0
固定資産取得支出			
什器備品購入支出			
投資活動支出計	0	0	0
III 予備費支出	0	3,256,042	3,256,042
当期収支差額	△ 1,039,741	0	△ 1,039,741
前期繰越収支差額	1,039,741	0	1,039,741
次期繰越収支差額	0	0	0

(予算)

正味財産増減計算書

平成 27年 4 月 1 日 から 平成 28年 3 月 31 日 まで

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減	備 考
I 一般正味財産増減				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	3,000	3,500	△ 500	
②受取入会金				
入会金	0	30,000	△ 30,000	
③受取会費収入	9,860,000	10,545,000	△ 685,000	
正会員	8,460,000	9,145,000	△ 685,000	
10,000円×18会員	180,000	180,000	0	
30,000円×35会員	1,050,000	1,050,000	0	
55,000円×12会員	660,000	770,000	△ 110,000	
80,000円×33会員	2,640,000	2,800,000	△ 160,000	
105,000円×15会員	1,575,000	1,575,000	0	
130,000円×8会員	1,040,000	1,300,000	△ 260,000	
155,000円×7会員	1,085,000	1,240,000	△ 155,000	
230,000円×1会員 計136会員	230,000	230,000	0	
賛助会員会費	1,400,000	1,400,000	0	
100,000円×10会員	1,000,000	1,000,000	0	
200,000円×2会員 計12会員	400,000	400,000	0	
④受取補助金等	200,000	200,000	0	
平成27年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0	
⑤受取負担金	700,000	700,000	0	
総会懇談会負担金	350,000	350,000	0	
新年大会懇談会負担金	350,000	350,000	0	
⑥受取委託料				
委託料	34,579,571	9,900,000	24,679,571	
⑦雑収益	146,259	83,734	62,525	
経常収益計	45,488,830	21,462,234	24,026,596	

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減	備 考
(2) 経常費用				
① 事業費	40,475,503	20,171,900	20,303,603	
給料 手当	22,133,718	11,600,040	10,533,678	
福利厚生費	1,033,815	1,145,681	△ 111,866	
退職金掛金	173,088	172,800	288	
表彰 費	100,000	100,000	0	
旅費交通費	4,948,833	2,664,660	2,284,173	
通信運搬費	369,350	287,180	82,170	
消耗品費	488,455	541,575	△ 53,120	
印刷製本費	548,110	603,850	△ 55,740	
会 議 費	356,500	600,000	△ 243,500	
諸 謝 金	6,770,992	676,240	6,094,752	
賃 借 料	2,553,961	1,485,984	1,067,977	
会場借上	0	200,000	△ 200,000	
広 告 料	902,000	0	902,000	
雑 費	96,681	93,890	2,791	
② 管理費	4,797,026	3,693,100	1,103,926	
給料 手当	580,142	1,100,010	△ 519,868	
福利厚生費	307,061	621,288	△ 314,227	
退職金掛金	114,912	115,200	△ 288	
旅費交通費	9,917	5,340	4,577	
通信運搬費	75,650	58,820	16,830	
消耗品費	100,045	110,925	△ 10,880	
印刷製本費	41,890	46,150	△ 4,260	
会 議 費	700,000	700,000	0	
賃 借 料	749,999	436,376	313,623	
諸 謝 金	1,732,608	113,760	1,618,848	
支払負担金	365,000	366,000	△ 1,000	
雑 費	19,802	19,231	571	
③ 什器備品減価償却費	0	34,747	△ 34,747	
経常費用計	45,272,529	23,899,747	21,372,782	
当期経常増減額	216,301	△ 2,437,513	2,653,814	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	216,301	△ 2,437,513	2,653,814	
一般正味財産期首残高	11,732,544	13,100,317	△ 1,367,773	
一般正味財産期末残高	11,948,845	10,662,804	1,286,041	
正味財産期末残高	11,948,845	10,662,804	1,286,041	

(予算)

正味財産増減計算内訳書

平成 27年 4 月 1 日 から 平成 28年 3 月 31 日 まで

科 目	公益目的 事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	2,364	0	636	3,000	
② 受取入会金					
入会金	0	0	0	0	
③ 受取会費	4,930,000	0	4,930,000	9,860,000	
正会員	4,230,000	0	4,230,000	8,460,000	
10,000円×18会員	90,000	0	90,000	180,000	
30,000円×35会員	525,000	0	525,000	1,050,000	
55,000円×12会員	330,000	0	330,000	660,000	
80,000円×33会員	1,320,000	0	1,320,000	2,640,000	
105,000円×15会員	787,500	0	787,500	1,575,000	
130,000円×8会員	520,000	0	520,000	1,040,000	
155,000円×7会員	542,500	0	542,500	1,085,000	
230,000円×1会員 計 129会員	115,000	0	115,000	230,000	
賛助会員会費	700,000	0	700,000	1,400,000	
100,000円×10会員	500,000	0	500,000	1,000,000	
200,000円×2会員 計 12会員	200,000	0	200,000	400,000	
④ 受取補助金					
平成27年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	0	0	200,000	
⑤ 受取負担金	0	0	700,000	700,000	
総会懇談会負担金	0	0	350,000	350,000	
新年大会懇談会負担金	0	0	350,000	350,000	
⑥ 受取委託料	34,579,571	0	0	34,579,571	
⑦ 雑収益	146,259	0	0	146,259	
経常収益計	39,858,194	0	5,630,636	45,488,830	

科 目	公益目的 事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計	備 考
(2) 経常費用					
① 事業費	40,475,503	0	0	40,475,503	
給料手当	22,133,718	0	0	22,133,718	
福利厚生費	1,033,815	0	0	1,033,815	
退職金掛金	173,088	0	0	173,088	
表彰費	100,000	0	0	100,000	
旅費交通費	4,948,833	0	0	4,948,833	
通信運搬費	369,350	0	0	369,350	
消耗品費	488,455	0	0	488,455	
印刷製本費	548,110	0	0	548,110	
会議費	356,500	0	0	356,500	
諸謝金	6,770,992	0	0	6,770,992	
賃借料	2,553,961	0	0	2,553,961	
広告料	902,000	0	0	902,000	
雑費	96,681	0	0	96,681	
什器備品減価償却費	0	0	0	0	
② 管理費	0	0	4,797,026	4,797,026	
給料手当	0	0	580,142	580,142	
福利厚生費	0	0	307,061	307,061	
退職金掛金	0	0	114,912	114,912	
旅費交通費	0	0	9,917	9,917	
通信運搬費	0	0	75,650	75,650	
消耗品費	0	0	100,045	100,045	
印刷製本費	0	0	41,890	41,890	
会議費	0	0	700,000	700,000	
諸謝金	0	0	1,732,608	1,732,608	
賃借料	0	0	749,999	749,999	
支払負担金	0	0	365,000	365,000	
雑費	0	0	19,802	19,802	
什器備品減価償却費	0	0	0	0	
経常費用計	40,475,503	0	4,797,026	45,272,529	
当期経常増減額	△ 617,309	0	833,610	216,301	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 617,309	0	833,610	216,301	
一般正味財産期首残高	11,732,544	0	0	11,732,544	
一般正味財産期末残高	11,115,235	0	833,610	11,948,845	
正味財産期末残高	11,115,235	0	833,610	11,948,845	

報告事項 2 基本財産からの繰入れについて

平成27年4月24日に開催された第1回理事会において、定款第37条但し書きの規定に基づき、基本財産の一部を下記のとおり処分することについて、議決されたので報告します。

記

1. 繰入れの理由 国の委託事業分の一般会計からの立て替えにより年度末の資金収支が不足するおそれがあることなどから、公益法人の活動を確保するための財源に不足が生じると認められること。
2. 基本財産額 1, 046万円（平成27年3月31日現在）
3. 処分予定額 200万円
4. 処分の方法 27年度予算への繰り入れ

なお、現在の基本財産は、定款第36条第2項第2号に基づくものである。
また、これについては用途は定められていません。

*関係条文

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部定款(抜粋)

(資産の種別)

第36条 この法人の資産は、基本財産及び運用財産の2種とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

(1) 基本財産とすることを指定して寄付された財産

(2) この法人の目的である事業を行うために必要な業務または活動の用に供することとして理事会で定めた財産

3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。

(基本財産の処分の制限)

第37条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供することができない。ただし、やむをえない理由があるときは、理事会の議決を得て、その一部を処分し、又は担保に供することができる。この場合は、直近の総会で報告するものとする。

◇ 講演会

(1) 特別講演

演 題 「中小企業・地域知財支援の最新動向」
講 師 九州経済産業局 地域経済部技術企画課
特許室長 横田 之俊 氏



【講師略歴】

1998年 経済産業省特許庁に入庁。主に模倣品対策や国際会合などの国際業務に携わる。2008年～2011年、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)・ニューヨーク事務所勤務。2013年から、地域中小企業等の知財活用による成長を後押しする支援策の企画立案を担当。2015年4月、企画側から現職である実施側に立場を変え、九州地域の知的財産活動の促進による地域活性化に向けた取り組みを行っている。

(2) 記念講演

演 題 「行政に頼らない地域おこし」
講 師 鹿屋市串良町柳谷自治公民館(やねだん)
自治公民館長 豊重 哲郎 氏



【講師略歴】

1960年 鹿児島県立串良商業高等学校卒業、同年東京都民銀行に入社し上京。1971年 地元に戻りうなぎ養殖を始める。1979年～97年 串良町上小原校区公民館長。1981年 うなぎ専門店「うなぎの川豊」創業。1996年やねだん(串良町柳谷集落)自治公民館長となって以降、「行政に頼らない地域おこし」をめざしアイデアあふれる地域再生活動を实践。地域再生の立役者として注目を集めている。